

シンクタンク神奈川なう

～今年度の活動を振り返りシンクタンク神奈川の今後を考える～

シンクタンク神奈川が立ち上がってもうすぐ1年になります。これまでの活動を振り返りながらシンクタンク神奈川の今後について考えます。

◆はじめに

シンクタンク神奈川は、本県の重要な知的・人的資源である大学と一層の連携を図りながら、多様化、複雑化する県政課題に的確に対応する政策の形成を支える調査・研究を行うとともに、大学や地域の力を結集して、ともに地域課題の解決を図る新たな協働の仕組みを構築、運営することを通じて、政策主導の県政運営に寄与することを目標に平成22年4月から活動しています。

シンクタンク神奈川が立ち上がってもうすぐ1年となりますが、これまでの主な活動内容を振り返ってみたいと思います。

◆調査研究事業

(1) 調査研究

多様化、複雑化する県政課題に的確に対応するため、本県の実情を踏まえた政策形成を支える調査研究を実施しています。

【研究内容】

- ・子どもの安心のための政策研究
- ・県内事業所における男女共同参画推進状況の調査、分析等
- ・地域における科学技術政策のあり方について
- ・神奈川県の人人口推計研究
- ・ローカル・デモクラシーに関する研究
- ・高齢社会における住環境研究
- ・望ましい自治体監査機能のあり方

(2) 県民からの政策提案制度

67件の提案から3回の審査を経て、1件が採択されました。

提案の名称 提案者	事業の内容
カラーバリアフリーで創る街づくり 直井 千佳さん	県内地域から「カラーバリアフリーで創る街づくり」のモデル地区を選定し、色覚障害当事者や地域住民などで構成する検討会を設置して、次の事業を行い、カラーバリアフリーの普及を図る。 1 案内板、標識等の検証 2 カラーバリアフリー化の提案等

◆大学連携事業

(1) 大学発・政策提案制度

県内に所在する大学から県政に関わる政策を募集し、公開コンペによる審査で選ばれた提案について、大学と県が協働で事業を実施します。平成22年度は、21件の応募の中から次の5件が採択されました。

提案の名称 実施代表者	事業の概要
市民的相互圏形成に関する実践的研究 —新しいウア・コミュニティ形成への政策支援— 慶應義塾大学	地域福祉の推進を図るため、地域の課題発見と解決に向けた協働の仕組みを作り出す方法について、県、市町村、自治会、NPO等が対等な関係のなかで議論し、研究する。
福祉支援者支援のための要介護者生活状態情報発信スマートシステムの研究 桐蔭横浜大学	要介護者のプライバシーに配慮しつつ、介護者や、福祉関連業務従事者の負担を軽減することを目指し、要介護者の生活振動をセンサーにより計測して、要介護者の案日を確認できるシステムを研究開発する。
「かながわ観光プランナー」育成セミナー —地域の魅力を創り、育て、届ける力で地域を変える— 文教大学	観光振興に必要な能力を備えた自治体や観光関係団体、施設の職員を養成するため、専門的な教育を行うモデルプログラムを開発し、実施・検証する。

里地里山の保全手法等に関する調査研究 横浜国立大学	「里地里山活動協定」に基づいて実施されている保全等の活動の状況を現地調査等を通じて把握し、里地里山の保全手法の有効性を検証するとともに、保全活動の効果を向上させるための改善手法を研究する。
災害時における観光者、外国人、障害者の避難誘導方法に関する調査研究 横浜商科大学	災害発生時における観光者や外国人などに対する避難誘導方法等について、箱根をケーススタディの対象として調査検討する。

大学発・政策提案制度については、平成23年度も実施を予定しています。多数の応募をお待ちしております。

(2) 大学連携リーディングプロジェクトの推進

①「かながわ発・中高生のためのサイエンスフェア」の実施

平成22年7月17日に、新都市ホール及び新都市プラザ（そごう横浜店9階・地下2階）において開催しました。当日は中高生を中心に1,700人あまりの来場者を集め、大盛況のうちに終了しました。

アンケート結果からは、

- ・それぞれの実演・体験コーナーがとても興味深かった
- ・理系は難しい感じがしたが、身近に

感じることができた
・様々なことに興味が持てて、進路選択の幅が少し広がった
などの意見が多数あり、中高生の関心の高さを感じさせるものでした。

※かながわ発・中高生のためのサイエンスフェアとは

神奈川には、高い技術を持ち、最先端の研究に取り組んでいる大学・企業・試験研究機関が集積しています。この利点を生かして、県が推進する「理工系人材の養成と活躍の場づくり」の一環として将来の研究開発機能を担う人材を育成したいと考えています。そこで進路選択を間近に控えた中学生や高校生の皆さんに、“科学の不思議や理工系の魅力を知ってほしい、理工系への進学のきっかけをつかんでほしい”という思いから、神奈川県、県教育委員会、県内理工系大学と（財）神奈川科学技術アカデミーが協働で実演・体験コーナーや大学ブースコーナーなどを設置、開催しているイベントです。

②「かながわ発地元・オンリーワン企業セミナー」の実施

平成22年10月13日から15日まで、海老名市の神奈川県産業技術センターで開催されました。当日は参加した理工系大学生・大学院生等が地元企業の説明に熱心に耳を傾ける様子が見られました。

※かながわ発地元・オンリーワン企業セミナーとは

神奈川県には多くの技術系優良企業が集まっています。このセミナーでは、来春以

降の就職をめざす理工系大学生・大学院生、教員及び就職事務のご担当者などを対象に、「オンリーワン技術」や先端的研究開発などを紹介し、地元企業の魅力を伝えます。

◆シンクタンク神奈川のこれから

シンクタンク神奈川の立ち上げから、もうすぐ一年になります。現在は、政策研究報告書の作成や、来年度本格化する事業の準備などのため、忙しくも活気あふれる職場となっています。

この一年間の、成果と課題をしっかりと分析・検証して、今後、シンクタンク神奈川が発展を続けていくために職員一同、研鑽に励んでいきたいと思っております。今後とも、皆様のご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。